



東小だより

学校だより11月号

令和7年10月31日

昭島市立東小学校

校長 鈴木 正樹

思いやりの心で つながる ふれあいの輪

校長 鈴木 正樹

秋も深まり、朝晩の空気に冬の気配を感じる季節となりました。

子供たちは、学習発表会に向けて日々の練習に一生懸命取り組んでいます。友達と声を掛け合い、協力して作品をつくり上げていく姿から日々の確かな成長を感じます。

学習発表会は、学校行事の中の文化的行事として学習指導要領に位置付けられています。文化的行事のねらいは主に次の三つです。

- 児童が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいもの、よりよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを得る。
- 自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲をもつことができるようとする。
- 多様な文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。

これらのねらいが達成され、子供たちの成長につながるように本番まで練習を重ねていきます。発表会当日には、友達と力を合わせて頑張った成果を御覧ください。

11月は「ふれあい月間」です。ふれあい月間は、友達との関わり方を改めて見直し、「思いやりの心」を育てる期間です。いじめをなくすためには、誰もが相手の立場に立って考え、困っている人に「どうしたの?」と声を掛ける勇気が大切です。学校生活の中では、意見が衝突するときや思いどおりにならないときもあります。しかし、そこで相手を理解しようとする心や、互いに助け合う姿勢こそが、よりよい人間関係を築く第一歩です。子供たちが「自分も友達も大切にできる人」へと育っていくよう、職員一同、指導・支援を続けてまいります。

御家庭や地域の皆様にも、子供たちが日々の生活の中で「思いやり」「協力」「感謝」の心を実感できるよう、引き続きの御理解と御協力を願いいたします。